

平成 27 年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校 「特別活動の取組事例」

学校名	広島市立福木中学校	校長氏名	笹田 清浩	生徒指導主事氏名	平田 琢巳
-----	-----------	------	-------	----------	-------

取組事例名 『縦割り活動を生かした体育祭』

取組のねらい『キーワード 生徒同士の共感的な人間関係』

- ・ 縦割り活動（異学年交流）
- ・ 上級生が下級生の手本になり、下級生のことを思いやり、下級生が上級生を尊敬しながらお互いの励みとする。

取組の具体的内容『キーワード 縦割りでの協力』

- ・ 体育祭実行委員会、各係会で運営する。
- ・ 体育祭の予行準備や前日準備を部活動に割りあてる。
- ・ 学年を 3 色の色別に分けて競技し、縦割りの意識を高め合計点で総合順位を決定する。



監察係生徒の様子



入場行進



全体集合



色別の生徒席

取組の課題・創意工夫『キーワード もっと縦割り活動を』

- ・ もっと縦割り活動を工夫して上級生の活動の場を設ける。
- ・ 縦割り合同練習の時間の確保、作戦の交流、練習を仕組む。
- ・ 団長の活躍の場を設けて生徒自ら体育祭に打ち込める体験をさせる。



黄組（1組）



青組（2組）



赤組（3組）

取組の成果（効果）『キーワード 上級生のリーダーシップ』

- ・ 「去年より今年の体育祭」を特に 3 年生は意識していた。昨年度はどうかと不安な一面も見られたが、今年度当初から「私たちが、俺たちがリードする」という意気込みが感じられた。
- ・ 体育祭では、生徒会により開会式と閉会式を運営し、団長を先頭に縦割り団での入場行進を取り入れた。



縦割り入場行進



開会式（選手宣誓）



閉会式（表彰）

今後の展開『キーワード すごい福木中にしちゃおう』

- ・ 「今年の3年生に続け、追い越せ、新たな福木中学校をつくろう。すごい学校にしちゃおう。」をスローガンに1・2年生での取組の気運を高める。
- ・ 生徒会の活性化とリーダーの育成を図る。

他校へのアドバイス『キーワード 達成感が味わえる体験を大切にしたい学校づくり』

- ・ 学級での係活動や生徒会を中心とした学校行事を通して、生徒同士のつながりを大切にさせ、教職員が適切な声かけをして、生徒たち自身にやり切らせることで達成感が味わえる体験をさせていきたい。